

令和6年10月31日
環境局環境対策課

高病原性鳥インフルエンザウイルス(県内野鳥1例目・長岡市で回収)の検出により実施した調査の結果、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした

長岡市で回収されたオオタカから高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出(10月25日報道発表済)されたことを受け、野鳥監視重点区域内(回収地点の半径10km)において調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

1 経緯

- 10月21日(月)
- ・長岡市でオオタカ1羽の傷病個体を発見し、県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里へ搬入
 - ・簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応
 - ・環境省が回収地点の半径10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、県が野鳥の監視を強化
- 10月25日(金)
- ・環境省が遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)を検出

2 調査日

令和6年10月30日(水)

3 調査結果

野鳥監視重点区域内にある渡り鳥の飛来地等7箇所において、野鳥の生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施した結果、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

4 今後の対応

引き続き、野鳥の監視体制の強化及び関係機関との情報共有などの対応を継続します。

本件についてのお問い合わせ先
環境局環境対策課自然共生室 副参事 上迫
電話(直通): 025-280-5691 (内2691)